

創刊号

將軍山会報の創刊を
心から御祝いします!!

追手門学院大学学長 天野利武



追手門学院の 将来

編集者から「追手門学院の将来」

という題で執筆することを求められ

ましたが、追手門学院の将来は、学
院大学関係者のすべての考え方や努
力によってきまつてゆくのであつ

て、私の考え方や私ひとりの努力でど
うにもなるものではありません。

しかし、古い歴史と伝説を持つ私
の考え方を持ち、その上に立って院長
としての仕事をしてきましたので、
学院の将来をこうするとか、こうな
るということではなく、私学とし
ての追手門学院の将来のあるべき姿
について、私見の一端を述べてみた
いと思います。

わが国における私学の歴史は、約
一世纪、一八六六年（慶應四年）福
沢諭吉によって創設された慶應義塾

校を創設し、小・中・高の各学校が
協力して同じ考えのもとに大学を幼
稚園を創設したのであります。

私学がその本来の特色を發揮する
のに、最も適した総合学園の形態は
一応これで整ってわけであります
が、この総合的な学院の構成によ
つて、大いに發揮されねばならぬ、学
院独自の一貫教育の実情について申
すならば、決して満足すべき状態に
あるとは言えないのです。

これにはいろいろな事情があるわ
けですが、大学に法学部や理科系の
学部が欠けていると言うこともその
一つでしょう。

しかし、本学院関係者が協力によ
り得ないと考えています。

今後われわれ学院関係者が努力し

なければならぬことは、追手門学

院という総合学園の物心両面にわた
る学院内外の諸条件を、本学院独
自の教育の理想的な実現が可能に

なるよう次第に整えてゆくことだ
と思います。

これは、実際には多くの困難を伴
う大変な仕事でありますが、これを
やりとげることによって本学院がわ
が国における最もすぐれた私学とし
ての名声を獲得することができるの
ではないでしょうか。

本学院の将来のあるべき姿、それ

は追手門学院の幼稚園から小・中・

高の三課程を終了したものが、最後

に学生としての最高の誇りを胸に抱
いて追手門学院大学を卒業すること
ができるようになることだと思います。

な物である。
それを素直な純粋な目で見つめられるのがこの頃である。
さまざまな男女がさまざま問題を語り合いながら接触して行く中で恋愛が生まれる。時には喜び、悲しみ、あまりにも見つめすぎたゆえに自らの生命を絶つ者もいる。それはしかたのないことである。
また大学に入つたらすぐに、一つの専門的なものに取り組んでいく者もいる。それもいいだろう。
今日の日本の大学は、昔の大学にくらべると、かなり自由なゆつたり

みなさんもご存知だとは思うが、日本の大学の礎を築き上げたのは東京帝国大学で、それから後に慶應大、早稲田大などとの私学が出てきたのである。

追手門学院同窓会

山桜会 ヨーロッパ・ツア-

—世界的な芸術の殿堂をたずねて—

推薦する者	団体募集人員 四十名	上記金額には下記の経費が含まれ ています。
参加費用	五十一万円	
経費内容		
A 交通費	エコノミークラス航空 料金	
B バス運賃	各都市のバス使用は原則として三食付	
C 食事	特別貸切バスの運賃	
D ホテル	全行程一級ホテル 人一室（バス又はシ ャワー付）の料金	

■ 参加費用の払込方法
申込書発送と同時に、下記の金額
を所定の日時までにお支払い下さい。

申込金 五万円
(特別の事情を除き返金致しません)
残額 昭和四十九年二月二十日
迄

■ 申込締切日
昭和四十九年一月二十日まで

■ 申込先
追手門学院高校内 山桜会
567 大阪府茨木市安威二三〇
旅行についての問合せ

田中総理がモスクワを訪れて無事帰国された。無事は結構だが例の“北方領土返還”的は如何相成つたのであらうか。以前よりは少し色よい返事であつたらしいがどうもハッキリしない。

そこで、一つの仮説をだしてみる。もし、現在の日本国にアメリカなどの原子核武装があり、陸海空二百万の国軍がある、としたら、どんなものであろうか。

直ちにおかえし致します、とはゆかないだろうが、少なくとも今少しは色よいご返答があるはずである。

いや、もし、アメリカの三倍の軍備（原子バクダンも含めて）があつたとしたら、サーサードーゾと早速におかえし戴けるであらうこと絶対に間違いはない。

まことに単純なおハナシである。強い奴が勝手、強い奴のいうなり、という力の論理、そして他方においては、アメリカでもソビエトでも中國でも韓国でも……、みなさんそれぞのお国と国民のことを一生懸命

に考えてござる、という嚴肅かつ單純なる事実。

この二つのことを離れていかなる論議も全く用をなさない。にもかかわらず、この二十八年間日本のお人々はその用をなさない議論をゴタゴタガサガサと繰り返してきた。何とも、お人よしというかバカというべきか、まことに、アホとチャウカといいたい程である。

さらに、そのこと、つまり、日本の国と国民がガタガタバラバラである、ということはよりも直さず先方様には都合がよい。これまた自明の理である。ハッキリ申せばこの二十八年日本の社会がゴタゴタと内紛をくりかえしてきたのは、まさしく戦勝国の論理であり先さまのキャンベル伦に他ならなかつた。

決して米国やソ連が悪いわけではない。アタリマエのことである。アワレを止めるのがわが大和民族という次第。これ程バカでは仕方がないと三島剣士のようにアキラメの心境に落ち入る方が正しいかも知れな

論調などというバカバカしい現象はこの観点からながめれば、なぜそれをやるのか、極めてカンタン明瞭ではないか。

もうそろそろこのあたりで眼がやめてもいいのではないか。例の石油問題、一体どうなることであろう。ヤランといわれればそれでおしまい、値上がりを怒ればトーソーが勝手にとのたまうことであろう。

公害がどうの、空気がどうの、内輪でガタガタ騒いでいるうちに、もつともっと基本的な問題が目前にやってきつつある。よその国の利益のためのバカバカしい空理空論や内輪モメはこのあたりで打どめにして、少しあはアタリマエのことをアタリマエに議論したいと思うのだが、果して如何。

生まれながらのオッショコチヨンである私は、文筆的才能の乏しいのを忘れ何の気はなしにひき受けたゞものなかむずかしい。
そこで、はなはだ無責任ではあるが大学に閑した何かを書いて行こうと思ふ。
したがつて何を書いているかといふことは、私自身もわからないゆうご了承いただきたい。
私は大学というものは社会といつた違った組織をいろんな角度、方角から見聞できるところの広大な丘の上にある運動場というかグウランのように思える。
そして日本という一つの国の中にある組織ではあっても政治から独立しているとともに、その内容は国際的に制限されたり、強制された政治、文化、社会が規定する中になるとどうあるのではなく、非常に伸び伸びと広範囲な行動力を持ち教師と学生の自由な研究と教育のよりどころとなるようになければならないと同時にその中の学生が、自らの意志にとつて自らえらび、自らきたえ、自

について話しを取りかわしていく。それらの経過を通じて主義、思想といつたものが生まれ、後に自分なりの思想、主義が養成されていく。そして時には集会などの場所でそれがとんでもない形で発言され場内を表面的な混乱に落としいれる。しかし、その発言というのは、それだけその問題について積極性があるのであって、決して悪いのではない。また行動力においてもそうである。前者の主義、思想には思いきった失敗をおそれない失敗すれば、またやりなおし踏まれても、すぐ立ちあがる雑草のような強い行動力が必要である。いろんなクラブを何人かで作っていく。そしてそれをかたづけながらぶちこわしていくは、また新しいものを作っていく。

時にはアルコールなどで血ヘドを吐くまで酔いつぶれるのもおつなものであるが、これはあまりおすすめできない。

行動力において、学生という立場が恵まれている点は少々むちやなことをしてても大目に見られるということができない。

特
別
寄
稿

今日を憂う！

い。 ドイツはいまだに二分されてい

私の大学観

苦しむといった場であることが望ましい。



追手門学院理事長
東國德

「將軍山会」の母校愛を期待します!!



発行所 茨木市安威230
追手門学院同窓会
將軍山会
電話(0726-43-5421)
発行者 中尾八郎
印刷所 大阪活版印刷KK

風かおる新緑の季節となりました
が、將軍山会会員の皆さんにはます
ますご健勝にてご活躍のことと存じ
ます。

追手門学院大学も創立以来早や九年目を迎え、去る三月には第五回目の卒業生を送り出すまでになりました。これは教職員、学生諸君の努力と共に、卒業生の皆さんのご支援とご協力のお陰と深く感謝する次第であります。

今回、將軍山会報の発刊にあたり私はここで改めて、私学における卒業生の母校愛について考えてみたいと思います。

いうまでもなく、わが国の教育はいわゆる官学と私学が二つの大きな柱を成しています。

その中にあって、私学本来の特色は、創刊号において天野学院長がのべられているように「自主独立の精神に支えられ、独自の教育精神によって性格付けられた独自の学風をもち、その学風を慕い、または誇りとする学生、学徒、その父兄、卒業生により支持されている点」にあります。

わが追手門学院は、大阪偕行社付属小学校以来の長い歴史と伝統の上に立って、将来国家社会に貢献すべき指導的人材の育成と教育方針の根幹として今日に至りました。そして数多くの有為の人材が社会に送り出される一方、「山桜会」という、他の私学に勝る同窓会組織によって、母校発展のために限りなき支援と協



將軍山会決算書

会計 新野三四子

(昭和46年5月13日～昭和48年3月31日)

収入の部	摘要	支出の部
円 400,000 341,000 1,886	山桜会援助金 將軍山会終身会 雑費収入(銀行利息) 総会費(第11回 S.46年5月30日) 本会運営費 消耗品費 備品購入費 援助費(S.47年大学祭)	円 41,000 17,380 5,360 5,115 300,000 64,130
	通信費	
742,886	小計 次年度繰越金	432,985 309,901
742,886	合計	742,886

当決算書についての問合せは財務担当鶴毅までお願ひいたします。

追手門学院大学卒業生の皆様、いかがお過ごですか。ここに「將軍山会」の機関紙を発刊するにあたり、簡単に、その趣旨を述べさせて頂きたいです。この度、追手門学院大学は創立して、八年目を迎えるに至り、卒業生も三千名余となり、今年度に心理学の大学院を設立し、そして、近い将来には、大手前校舎及び、茨木校舎の中高等学部の移転をひかえ、それに伴ない、現在の、経済・文学学部とは別に、新学部の増設は、間近かにものとなり、追手門学院大学の卒業生、すなわち、「將軍山会員」がここ数年来に、飛躍的に増加することとは、客観的事実であります。ところで、大学を卒業した会員の皆様にとっては、大学を卒業した会員の皆様にものとなり、追手門学院大学の卒業生、すなわち、「將軍山会員」がここ数年来に、飛躍的に増加することとは、客観的事実であります。ところでは、大学を卒業した会員の皆様にとって、社会人になった今日、学生時代のあの校舎、あの師、あの友……。と数々の想い出を秘めた母校を感じることがあると思います。

本紙は、追手門学院大学を中心として、在校生、卒業生の方々の意志疎通の「きずな」としての役目を果たすために、万全を期すつもりであります。それにより、大学、在校生として卒業生の三者の相互理解がより一層深まるものと、信じて疑いません。それが追手門学院大学の発展の一端になってくれると思います。そして、更には、私達は、大学ご出席いただきました方には厚くお礼申し上げます。またご出席できなかつた方はぜひ次回の参加をお願いいたします。さて将軍山会は今後とも各種の活動を行なってゆくのではありますがあなにぶん資金の面で非常に苦しい思いをいたしております。皆様の終身会費が何よりも財源ですので、未納の方々には、万全のご協力をお願いいたします。

財務部 鶴毅

発刊にあたり

追手門学院大学卒業生の皆様いかがお過ごですか。ここに「將軍山会」の機関紙を発刊するにあたり、簡単に、その趣旨を述べさせて頂きたいです。この度、追手門学院大学は創立して、八年目を迎えるに至り、卒業生も三千名余となり、今年度に心理学の大学院を設立し、そして、近い将来には、大手前校舎及び、茨木校舎の中高等学部の移転をひかえ、それに伴ない、現在の、経済・文学学部とは別に、新学部の増設は、間近かにものとなり、追手門学院大学の卒業生、すなわち、「將軍山会員」がここ数年来に、飛躍的に増加することとは、客観的事実であります。ところでは、大学を卒業した会員の皆様にとって、社会人になった今日、学生時代のあの校舎、あの師、あの友……。と数々の想い出を秘めた母校を感じることがあると思います。

本紙は、追手門学院大学を中心として、在校生、卒業生の方々の意志疎通の「きずな」としての役目を果たすために、万全を期すつもりであります。それにより、大学、在校生として卒業生の三者の相互理解がより一層深まるものと、信じて疑いません。それが追手門学院大学の発展の一端になってくれると思います。そして、更には、私達は、大学ご出席いただきました方には厚くお礼申し上げます。またご出席できなかつた方はぜひ次回の参加をお願いいたします。さて将軍山会は今後とも各種の活動を行なってゆくのではありますがあなにぶん資金の面で非常に苦しい思いをいたしております。皆様の終身会費が何よりも財源ですので、未納の方々には、万全のご協力をお願いいたします。

広報部 松田周永

会員各位へのお願い

だけを注視するに甘んずるには、各自の意識が許さないであります。そこで、必然的に、大局的な「世」の流れを知る必要性を感じます。

かがお過ごですか。ここに「將軍山会」の機関紙を発刊するにあたり、簡単に、その趣旨を述べさせて頂きたいです。

この度、追手門学院大学は創立して、八年目を迎えるに至り、卒業生も三千名余となり、今年度に心理学の大学院を設立し、そして、近い将来には、大手前校舎及び、茨木校舎の中高等学部の移転をひかえ、それに伴ない、現在の、経済・文学学部とは別に、新学部の増設は、間近かにものとなり、追手門学院大学の卒業生、すなわち、「將軍山会員」がここ数年来に、飛躍的に増加することとは、客観的事実であります。ところでは、大学を卒業した会員の皆様にとって、社会人になった今日、学生時代のあの校舎、あの師、あの友……。と数々の想い出を秘めた母校を感じることがあると思います。

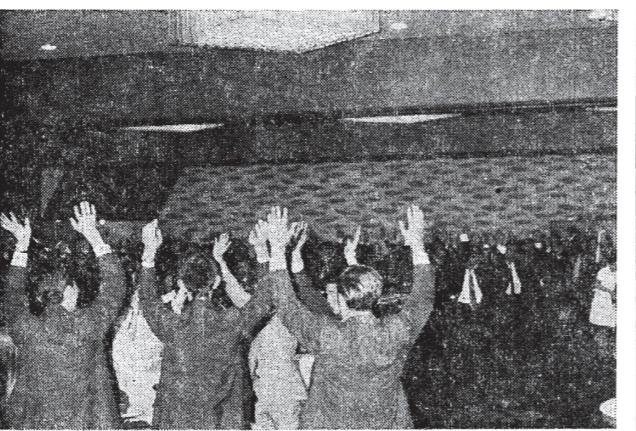
本紙は、追手門学院大学を中心として、在校生、卒業生の方々の意志疎通の「きずな」としての役目を果たすために、万全を期すつもりであります。それにより、大学、在校生として卒業生の三者の相互理解がより一層深まるものと、信じて疑いません。それが追手門学院大学の発展の一端になってくれると思います。そして、更には、私達は、大学ご出席いただきました方には厚くお礼申し上げます。またご出席できなかつた方はぜひ次回の参加をお願いいたします。さて将軍山会は今後とも各種の活動を行なってゆくのではありますがあなにぶん資金の面で非常に苦しい思いをいたしております。皆様の終身会費が何よりも財源ですので、未納の方々には、万全のご協力をお願いいたします。

広報部 松田周永

会員各位へのお願い

沈滞ムードの「山桜会」を 「將軍山会」の手で 一新しよう!!

總務部 岸本觀次



創立九十年目を迎えたわが追手門学院の同窓会である山桜会は、今までこれといって目立った一般的活動もないまま今日ばく然とした巨大な組織にふくれ上っています。確かに山桜会の存在、その役割は追手門学院の経営その他のいわゆる一般会員の目に触れない裏の面では大きな力を持っているといえるでしょう。しかし巨大な組織である山桜会はそれ自体すでにその大きさのために身動きできなくなくなりつつあるのは事実だと思います。数多くの会員の中で真に山桜会の本質を理解し協力している人は一体何人いるでしょうか。今や山桜会は、会員不在の巨大な実体のない組織になろうとしています。

でもありません。今、山桜会に課せられた重大な任務は、一人でも多くの会員の眞の理解と協力を得ることだと思います。組織の拡充、体質改善、それらがこれから山桜会の目標だと信じます。そういう意味で山桜会は、今その一步を踏み出したところです。

しかし、こういったことは、一朝一夕にできるものではなく、また会員一人一人の協力なくしては、不可能なことです。組織を作るのは会員です。同窓会が素敵なものであることは、疑う余地がありません。自分は栄誉ある山桜会の会員であるという自覚こそが、最も重大なことであると思います。山桜会を良くも悪くもするのは、とりも直さず会員一人一人の力です。どうか永い目で山桜会を見守り、おしみない協力をいただければ、これに勝るものはないと信じます。これから山桜会主催の催し物には、一人でも多く一人より二人、二人より三人……を誘って出席いただけますようお願ひいたします。

中国から出した手紙

佐藤良和

昨年の初夏、五月二十八日から六月十二日まで、私は香港廻りで中華人民共和国を訪問してきました。九竜から汽車で羅湖まで乗り、国境を通過し、広州まで世界婦人号という列車で向い、広州からは上海、杭州・西湖、北京を尋ねました。その間、人民公社・病院・学校・農家の少年宮・工場などを精力的に見学すると共に、歴史的遺跡である万里の長城や実陵の地下宮殿、故宮・西湖も訪れることができ、充実した旅行でした。

そこで卒直な私の印象記を、次に綴りたいと思います。

「あなたの見た中国は?」

中国は、私達の用いている漢字の母国ですし、私たち日本人が多くを学んだ隣国です。が、同文異種とは良くいったもので、容貌や皮膚・毛髪の色は酷似していますが、本質的には日本人と違います。感覚や趣味ことばや発想・生活様式や建築物の型が、はるかにヨーロッパのそれらと類似し、ヨーロッパに近いのです。

例えば、建築はシンメトリカルな

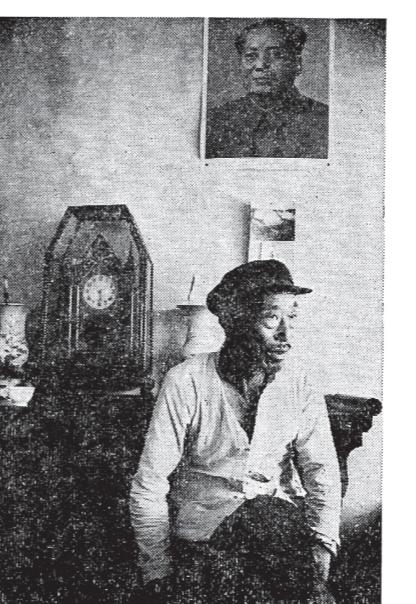
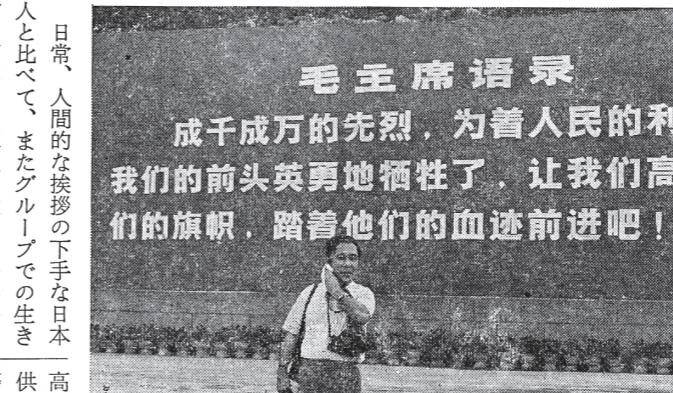
合の生活にも、それが見られます。手紙がトイレット・ペーパーであることは、驚きました。

先ず、中国はヨーロッパと地続きの国だ、とそう私は思いました。

「中国ってどんな国?」

でも親切に座席を譲り、荷物を担いでくれました。子供たちが老人から生き方の智慧や技術を学び、老人も子供たちと共に楽しみ学ぶことも、男女が相互に特性を活用しながら、反目もせず仲良く行動していること、も、それが整然と後始末をし清掃されている屋内や道路・街頭で見受けられました。

供たちの中に、自信と誇りに満ち、使命感を感じ、生甲斐を知っている瞳の輝きを見出すことができました。訪問先である北京南新華街中学（この学校は八十五年の歴史を持っています）では、久し振りに学校生活の空気を感じ、私はうれしくなって、化学教室・英語・数学教室そして、体育館・運動場・工場と廻りました。ともすれば予定に組まれた訪問先では、偉大な毛主席と中国共産党の指導で、Vとキレイゴトを見せられることもあります。私は、子供たちからそれを受け取りたくはなかったので、同行の人達と離れてのぞきこ



の毎日とは掛け離れ、清潔好きの彼等は、思いやりのある挨拶を贈り、折目・けじ目のついた動的な熱烈歓迎▽ぶりを展開してくれました。

拳や拳法、機械体操を、真剣にして
いた子供たちの動き。登校途上、リ
ーダーの笛のリズムに合せて元気に
歩く紅少兵の姿。

杭州の西湖の畔で、陽が落ちて暗
くなるまでバレーボールに打ち興じ
合った子供たちの明るさ。

なんだったのでしたが、目に写った子供たちの姿の中には、真面目に学習し△好好學習、天天向上▽に一途に打ち込む姿しかありませんでした。

結果として、中国の旅は△さわやか▽でした。勿論、広州で見かけた路上で一碗の昼食をむさぼり喰つて

日曜日、主人は二階で無線機の製作に熱中している。昼頃まで外出していた私は、昼食の用意に始まり、片づけ、洗濯、掃除と主婦業をためてしまつてバタバタし、こたつに入っている今は主人の会社の帳簿の整理である。やこしいことをしていはるのに二人の息子が入れかわりたちかわりやつて来て“あれを取つてくれ”“のどがわいた”“おやつがほしい”“おしつこがした”“こけて泣いているよ”で坐つておれないし、仕事も進まない。だんだん腹が立ち苛々して来た。彼は二階で趣味に専念しているというのに私はわずかな時間の落ち着きさえ与えてもられない。

いつも毎日遅くまで仕事を追われている彼だから休日ぐらゐ遊びさせてやうとする頃にはいつも全く逆の思いで腹を立てている。男っていいなあ、やりたい時にはやりたいことには実家へ帰らせてもらつても、友だちのところへ遊びに行かせてもらつても、常にコブつきで、その中の自

由なんぞはたかが知れている。さりとて旦那様を責めるのも酷といふので、彼は一般的の旦那様と比べると妻として母としてよりも私という人間を非常に大切にしてくれてはいる。だからこれは結局のところは子供を生み育てる本能をもった母親といふものに対するグチに過ぎないのである。

結婚するまでの仕事は追手門の教員であった。いろいろ悩み哀しみながらも、これほどやりがいのある仕事が他にあるとは思えなかつたよ

うな自分だったから好きな人と結婚するとはいゝ、その日が迫つてくると、仕事を辞めることと直結するが故にひどく気持がふさぎ、揺れに揺れた。仕事の内容からも自分の性格のだけれど、それでもなおどちらもが非現実的に私の中を駆けまわり、一人になると一方を捨てねばならぬ辛さに涙がボロボロ出た。その上に

お乳をあげて下さい」と手渡された

長男が五ヶ月ぐらいのときに団地

内にできたコーラス部に入り、二人

目がお腹の中にいるときに主人に勧

められてハムの勉強をし、二度目に

してやつとバスした。那次は簿記

の通信教育に精出して主人の会社の

帳簿をつけ、今は近所の奥さんに似

手な習字を教わっている。

“はい白木さん赤ちゃんですよ、

お腹を抱いて下さい”と手渡された

長男を胸に抱いたその時の感激充実感その瞬間からごく普通の母親にな

り切つた私だったが、にもかかわら

ずやつぱり何か物足りずモヤモヤし

た憂うつ症にかかる自分を見た。そ

してそういう自分から脱け出すため

には絶えず新しいものに挑戦しよう

と考え、自分の似手なものを一つ取

り出しが残つたまらなくな

りなさばかりが残つたまらなくな

る。育児が空しいものだとは思わな

いし（だからこそ仕事を捨てたのだ

で十分にするのは無理なようであ

る）それを一日中必死でやってみ

ることもまたあるけれど、一日が

終わるとやれきれない空しさ、物足

りの氣持はいつもひどく前向きで華や

かで力強い。一つやり終わつても私

の似手なものはいくらでも控えてい

るから次のことに着手したとたん

に、もうその次のことをあれこれ考

えて楽しんでいる。そのうちにあれ

これを死ぬまで究めてみようと思

うようなものも出てくるかも知れな

い。

しかしこうすることをするには主婦と

しては落第にならざるを得ない。そ

れから子供にも我慢してもらわなき

やならない。例えばコーラスの練習

に出るには一週に一度は寝寝の時間

がずれるなくなる。一ヶ月に二度

ぐらいは実家にあずけられてその間

に税理士のところへ行つたりもす

る。仕事を捨てて家にいるのだから

しては落第にならざるを得ない。そ

れから子供にも我慢してもらわなき

やならない。例えばコーラスの練習

に出るには一週に一度は寝寝の時間

がずれるなくなる。一ヶ月に二度

ぐらいは実家にあずけられてその間

に税理士のところへ行つたりもす

る。仕事を捨てて家にいるのだから

ての始まりのように思えるのだった。二児の母となつた今は、確かに育児と洗濯と食事と掃除の四つだけで

日が暮れるし（いやこの四つを一日で十分にするのは無理なようであ

る）それをして一日必死でやってみ

ることもまたあるけれど、一日が

終わるとやれきれない空しさ、物足

りの氣持はいつもひどく前向きで華や

かで力強い。一つやり終わつても私

の似手なものはいくらでも控えてい

るから次のことに着手したとたん

に、もうその次のことをあれこれ考

えて楽しんでいる。そのうちにあれ

これを死ぬまで究めてみようと思

うようなものも出てくるかも知れな

い。

ます。

寄こうをお待

りのお便より

会員の皆様よ

将軍山会では



まう。男の人はええなあ、子供と関係なく行きたいところへ一人で行くもん……と。

第2期将軍山会決算原案

経理部 鶴 毅

(昭和48年4月1日～昭和49年3月31日)

収入の部	摘要	支出の部
309,901.—	前年度より繰越金	円 339,692.—
36,000.—	将軍山会会費	7,610,000.—
7,788,000.—	ハワイ・ロイヤルツアーア会費	1,500.0.—
11,736.—	雑収入（銀行利息等）	30,820.—
	第2回総会費（S 48.6.24）	67,000.—
	ハワイ・ロイヤルツアーア支払	51,711.—
	ハワイ・ロイヤルツアーア雑費	57,000.—
	本会運営費	4,883.—
	会報発行費（創刊号）	8,150.—
	会報発送費	22,500.—
	会備品購入費	8,206,756.—
	消耗品費	○61,119.—
	各種書類印刷費	
	通信費	
8,145,637.—	小計 次期繰越金	
	合計	

当將軍山会の第2期決算は上記の様になります。正式決算は会計監査を受けた上で本会会則第11条の一、本会の予算・決算は理事会で決議したうえ実施し、総会開催の際、報告し、過半数の承認を経なければならない。にのつとり、今秋9月に予定されている定期総会にて発表されます。

会員諸氏が御覽になられてすでに御気付きの事と思いますが、第2期は大巾な赤字になりました。当会は皆様の会費により運営されていますので本期の様に少ない会費では運営が不能です。

皆様の御理解と未納の方の会費納入をお願い致します。

「將軍山会」はも
つと積極的に学
院・社会に働き
かけよう!!

事業部
長川堂茂

將軍山会発足以来、四年余りが経ち、今までの活動内容を事業部としての立場から、一〇Bとしての原則を貫いて考えてみると、それぞれの好意並びに使命感といった漠然としたものに支えられ、日常の中から時間を融通し、形あるものへと、それぞれの自覚のもと行動して参りました。

今、わが母校である追手門学院大

学の卒業生も二千余名を数えるに至り、量的な増大と共に、現在高校移

転、追手門学舎移転といった大きな問題を抱え、さらに大学院設立、あるいは新学部設置等々、質的に大きくなっています。

さらに去年の秋以降の全世界的な

流通機構においては資源不足あるいはそれに伴う大きな社会不安によつて資源供給の政治的な配慮に伴い、加工国であるわが国などでは大きな打撃を受け、それに伴い流通機構における政府介入などによってそれまでの日本の経済体制に少なからぬ影響を与え、今もって世界的に新しい

経済機構などを模索している中でそれを肌で感じつつ時の流れに何とか関係することもなく流れ、何となく危機感らしきを感じた昨今、わが将軍山会の活動もその中にあって、多少それまでとは違った、つまり今までの単に同窓会という機関を維持するだけのものではなく、もっと積極的に学院あるいは社会自身に働きかけるという気運を内抱し、

それぞれの仕事を遂行して現在に至っております。

もちろん、それぞれの活動は他から強制されるといったものではなく、自發的なものでなされてきました。

ここに將軍山発足以来四年を数

えたに当りどうにか個々の内にも整

理がつき新たな方法、つまりそれぞ

れの自覚に基き社会並びに学院への

提言といったものを掲げながら活動

しなければならないということはも

はや自明の事実となつております。

もう一度訪ねて
みたい国——中国

阪本育子

その歓迎ぶりは上海市内に入つても同様で、私たちのバスが通る度に人々は親しげに手をふり、拍手で迎えてくれました。

上海では人民公社、工場、少年宮

などを見学しましたが、特に少年宮

が興味を引きました。ここは地方か

らやつてきた十才前後の子供たち

が、学校以外の専門的なことを学ぶ

ところだったということでした。ビ

アノ、バイオリン、二琴（中国の民

族楽器）、コーラスなどの音楽、バ

レエ、製図、図画、切り絵、囲碁な

ど日本でも「おかげごと」として

行なわれているようなもの他に、

化学肥料、農作機械などの研究、簡

單な病氣治療のための針の実習な

ど、実社会に役立つものを熱心に学

んでいる子供たちの姿を特に興味深く見学しました。

この少年宮は建物もりっぱで、広

い芝生の上では子供たちが模型飛行

機をとばしたりして遊んでいまし

た。日本にもこのようないくつかの公共施設が

天津では、幼稚園と副食品店を見学しましたが、幼稚園では園児たちがまったくおじせずにはつきりともの言い、失敗しても恥びれず

た。ここに將軍山発足以来四年を数

えたに当りどうにか個々の内にも整

理がつき新たな方法、つまりそれぞ

れの自覚に基き社会並びに学院への

提言といったものを最初からやり

けなければならない」といった内容

直していたのが印象に残っています。

ただ、びっくりしたのは園児た

が、学校以外の専門的なことを学ぶ

ところだったということでした。ビ

アノ、バイオリン、二琴（中国の民

族楽器）、コーラスなどの音楽、バ

レエ、製図、図画、切り絵、囲碁な

ど日本でも「おかげごと」として

行なわれているようなもの他に、

化学肥料、農作機械などの研究、簡

單な病氣治療のための針の実習な

ど、実社会に役立つものを熱心に学

んでいる子供たちの姿を特に興味深く見学しました。

この少年宮は建物もりっぱで、広

い芝生の上では子供たちが模型飛行

機をとばしたりして遊んでいまし

た。日本にもこのようないくつかの公共施設が

みつめて見たいと思います。

天津から北京まで汽車で約二時間

です。さすがに北京は中国の中心部

であるだけに上海、天津と比べて洗

練されており、風格があります。街

並木や花壇

などは有名な天安門広場、故宮を見

るが十二才の女の子も最初から最

後まで、子供とは思えないほどの強

い責任感を持って行動していまし

た。日本の子供であれば、果たして

あれば、と少々うらやましく思いま

した。

ここに子供たちはびっくりするほ

どしゃかりしており、私を案内して

特に印象に残ったことを想い出します

ま書いてみたいと思います。

十八日の朝早く、私たち一行は

上海に入港しましたが、その時の歓

迎の素晴らしさは今も忘れられませ

ん。波止場にあふれるほどの出迎え

を行を楽しんできましたが、その中で

これまでの常套なるものが覆されてい

くのを肌で感じつつの流れに何とか

関係することもなく流れされ、何とな

く危機感らしきを感じた昨今、

わが将軍山会の活動もその中にあつ

て、多少それまでとは違った、つま

りに働きかけるという気運を内抱し、

それぞれの仕事を遂行して現在に至

っております。

もちろん、それぞれの活動は他か

ら強制されるといったものではなく、

く、自發的なものでなされてきました。

ここに將軍山発足以来四年を数

えたに当りどうにか個々の内にも整

理がつき新たな方法、つまりそれぞ

れの自覚に基き社会並びに学院への

提言といったものを最初からやり

けなければならない」といった内容

直していたのが印象に残っています。

ただ、びっくりしたのは園児た

が、学校以外の専門的なことを学ぶ

ところだったということでした。ビ

アノ、バイオリン、二琴（中国の民

族楽器）、コーラスなどの音楽、バ

レエ、製図、図画、切り絵、囲碁な

ど日本でも「おかげごと」として

行なわれているようなもの他に、

化学肥料、農作機械などの研究、簡

單な病氣治療のための針の実習な

ど、実社会に役立つものを熱心に学

んでいる子供たちの姿を特に興味深く見学しました。

この少年宮は建物もりっぱで、広

い芝生の上では子供たちが模型飛行

機をとばしたりして遊んでいまし

た。日本にもこのようないくつかの公共施設が

みつめて見たいと思います。

天津から北京まで汽車で約二時間

です。さすがに北京は中国の中心部

であるだけに上海、天津と比べて洗

練されており、風格があります。街

並木や花壇

などは有名な天安門広場、故宮を見

るが十二才の女の子も最初から最

後まで、子供とは思えないほどの強

い責任感を持って行動していまし

た。日本の子供であれば、果たして

あれば、と少々うらやましく思いま

した。